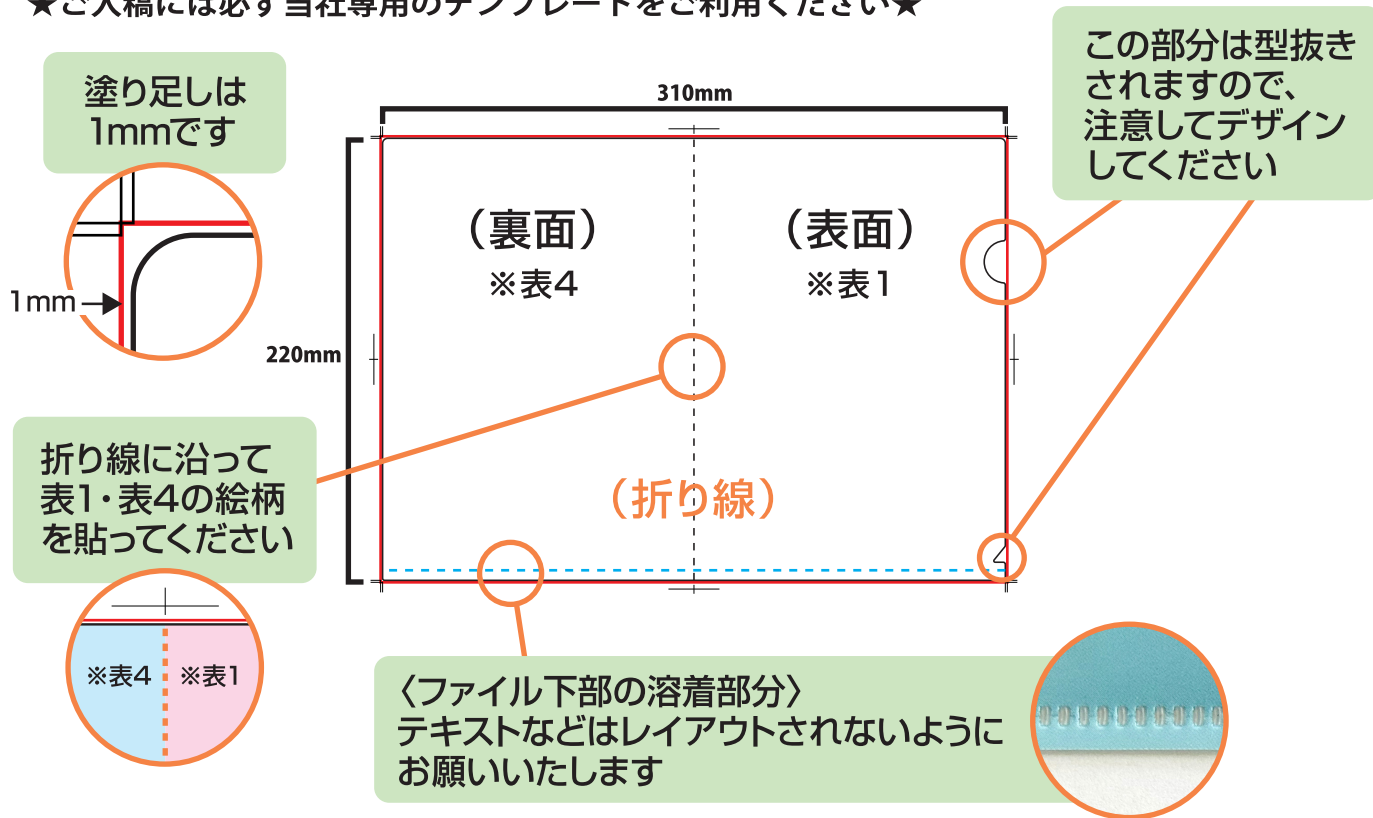


データ作成について

テンプレートについて

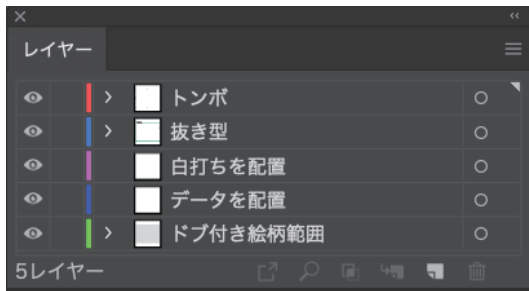
★ご入稿には必ず当社専用のテンプレートをご利用ください★



レイヤーについて

同一データ内に「カラーデータ」と「白打ち（白版）データ」をレイヤーで分けて作成してください。正しくレイヤー分けがされていないと、不要なデータが印刷されてしまったり、必要なパーツが印刷されない恐れがあります。

Illustrator



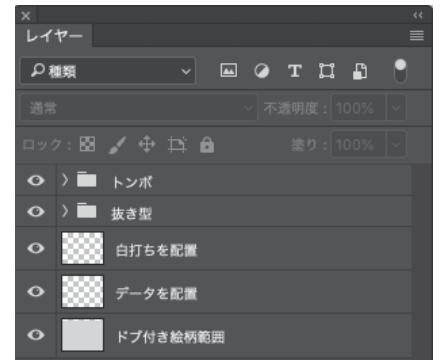
編集しないでください。

白打ちデータ

カラーデータ

編集しないでください。

Photoshop



※「トンボ」レイヤー：印刷や加工時に位置を合わせる基準として使用します。

※「抜き型」レイヤー：加工仕上がりをイメージする為の線です。印刷に反映されません。

デザインをする上での目安としてご活用ください。

※「ドブ付き絵柄範囲」レイヤー：塗り足しも含めた絵柄範囲です。印刷に反映されません。

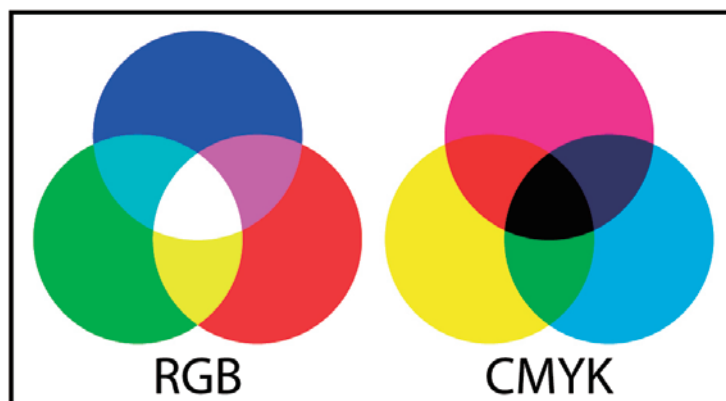
デザインをする上での目安としてご活用ください。

カラーモードについて

印刷は4C（C：シアン、M：マゼンタ、Y：イエロー、K：ブラック）で色を表現します。

データをRGB（R：レッド、G：グリーン、B：ブルー）で作成された場合、印刷時にCMYKに置き換えられ、色味が大きく変わる恐れがあります。

必ずCMYKでカラー調整いただいた上でご入稿ください。



文字のアウトライン処理について

アウトライン処理とは、テキストデータを図形化する処理の事です。

文字を入力したままの状態は、文字を打ちかえたり書式の変更が可能です。操作環境が変わると文字が変化してしまう恐れがあります。

ご入稿の際には、必ず文字のアウトラインの作成をお願いいたします。

※アウトラインの作成をしたデータは文字入力での編集が出来なくなりますので、
処理前のデータのバックアップをお勧めします。



アウトライン作成前



アウトライン作成後

画像データについて

●画像データは「埋め込み処理」をしてください。

データ作成時に使用した画像は「埋め込み処理」をしてください。

リンクさせて作成されたデータでのご入稿も可能ですが、下記事項にご注意ください。

- ・画像のカラーモードは必ず CMYK にしてください。
- ・画像データはイラストレータと同フォルダ内に入れてください。
- ・たくさんの画像を使用する場合、1枚の画像にまとめるなどして調整をお願いします。
- ・画像データの容量が重い場合、複雑な処理がされている場合や、文字化けなどによりリンクが外れた場合など、再入稿をお願いする事があります。ご了承ください。
- ・こちらで埋め込みする際に変化する恐れがあるため、「PDF 形式」や「AI 形式」、「(イラストレーターで作成した) EPS 形式」の画像データはご使用いただけません。

●画像データは印刷に適したサイズをご使用ください。

印刷用画像データとして適切なサイズは、原寸サイズで 350dpi です。

サイズが小さかったり、解像度が低かったりすると、データ作成時に画面で見ているより劣化した状態で印刷されてしまいますのでご注意ください。

※もともと解像度の低いデータを数値だけ変化させても荒さは変わりません。

白打ち（白版）について

白打ちとは？

クリアファイルの絵柄が透けないように、裏面に白いインクで印刷（白打ち）することです。



白打ちナシで印刷すると透けてしまう



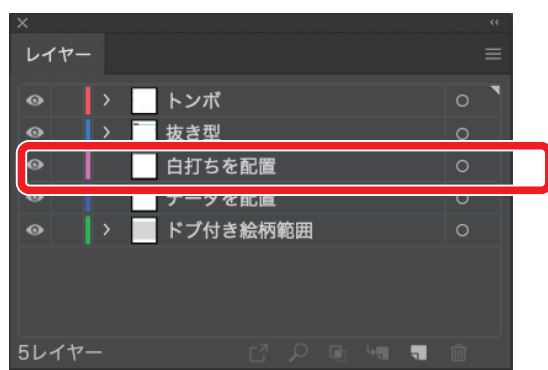
透けてほしくない部分を白打ちレイヤーで指定



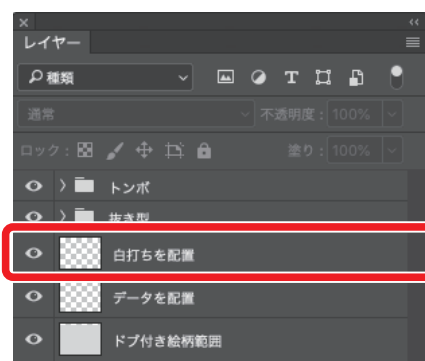
指定部分を裏から白で印刷するから透けない！

白打ちは同一データ内の別レイヤーに、黒（K100%）一色で作成してください。

Illustrator



Photoshop



クリアファイルの素材（PP…ポリプロピレン）は半透明なため、カラー印刷のみではとても透明度の高い仕上がりとなってしまいます。また写真やイラストの中に白色で表現されている部分は透明に仕上がります。

そのため、画像や絵柄の下に白を印刷する（白打ちする）事で透けにくくします。



白打ちなし



白打ちあり

「白い文字や図形を入れたい」「白ベタを印刷したい」「白い枠を付けたい」という場合にも、白打ちが必要になります。クリアファイル全体に白打ちする場合は、片面または全面白ベタとご指示いただければ当社でお付けしますので、入稿時にご指示ください。

白打ち（白版）について

特定のイラストや文字に白打ちをする場合

下記参照の上、白打ち（白打ち指定）データを作成してください。

CMYK で作成するレイヤーとは別のレイヤーに作成し、黒（K100%）で表現してください。

絵柄下に白打ちをする場合

対象イラストや文字より 0.1mm 内側に細らせて作成してください。

（原寸サイズで 350dpi として、フォトショップの場合は 2～3 ピクセル細らせます）

※絵柄と同じサイズで作成すると、印刷工程でコンマ単位のスレが生じた場合に白色がはみ出てしまう恐れがあります。

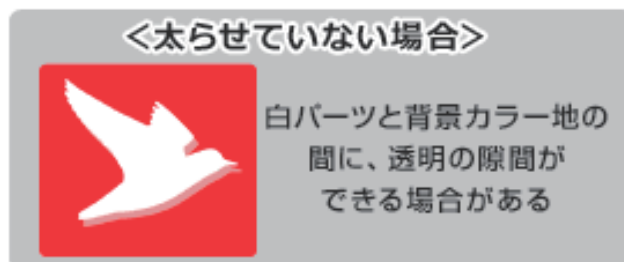


白抜きパーツのみに白打ちする場合

イラストや文字より 0.1mm 外側に太らせて作成してください。

（原寸サイズで 350dpi として、フォトショップの場合は 2～3 ピクセル太らせます）

※絵柄と同じサイズで作成すると、印刷工程でコンマ単位のスレが生じた場合に白色がはみ出てしまう恐れがあります。



●当社では K100% の黒色はノセの設定になります。

ノセにする事で、印刷時のズレで隙間が出来ないようにする事が出来ます。

クレジットなどの細かい文字などによく使用されます。

※ノセの場合、背面色が干渉した色味に仕上がります。

細かい文字などはあまり目立ちませんが、広い面積のベタ面は目立つ可能性があります。

ヌキ



文字の下に色がないので、
印刷時に原反の伸びやズレが発生した場合、
背面色と文字の間に隙間が出来ます。

ノセ



文字の下に色があるので、
K100%+ 背面色で仕上がります。
文字の位置で印刷の仕上がりが
左右されません。

※スミノセの回避方法

K100% 以外の黒色にする（濃度を数%下げたり他の色を数%入れたりすると回避出来ます）

●リッチブラック

CMYK の 4 色を掛け合わせて作成した黒色の事です。一般的には、K100% の黒色よりもリッチブラックの方が、美しくしっとりした締まりのある黒に仕上がるといわれます。

当社では **C40%、M40%、Y40%、K100%** のリッチブラックを推奨しております。

※細かい文字などの場合、4 色の版を重ねて色味を出す為、印刷時のわずかなズレで異なった色味に見える可能性があります。

●黒色の混在

上記 K100% やリッチブラック以外にも CMYK の掛け合わせで黒色を作る事が出来ます。同じ黒色といえども、構成される色味が異なれば仕上がりも変わってきます。

（例えば C80%、Y20%、M40%、K100% の黒色は少し青味掛かった黒色になります。）

塗りと線の黒色の数値が異なる場合など、色味も変わって見えてしまいますので、

同一箇所の黒色は統一される事をお勧め致します。

その他

●罫線の線幅は 0.3pt (0.1mm) 以上に設定してください。

これより細かい場合、印刷した際に線が表現されない可能性があります。

●校正見本を添付してください。

jpg データまたは pdf データを必ず**校正見本として添付**してください。

●データ入稿の際に不要なデータは添付しないでください。

トラブルの原因となりますので、「**印刷用データ**」「**リンク画像データ**」「**校正見本**」以外の**不要なデータは添付しない**ようお願いいたします。

●一つのフォルダにまとめて、圧縮してお送りください。

入稿データは、必ず一つのフォルダにまとめて、圧縮してお送りください。

●透明効果について

イラストレータで透明効果（オーバーレイや差の絶対値など）を使用される場合、その部分はラスタライズをしてください。

●仕上がりの色について。

印刷色は出力見本に極力合わせますが、お客様がプリンターで印刷されたものや素材が違うものへの印刷物とは、印刷対象物・インクの関係で**色合い・濃さが多少異なる点をご了承ください**。また、パソコン画面上の色味とも若干異なります。
※色味がご心配のお客様は、本品校正（別途料金／納期）されることをお勧めします。

●弊社テンプレートを使用していないデータについて

弊社規定テンプレートを使用することで、作業の効率化を図っております。
他のテンプレートを使用されたり、テンプレートを使わずに作成したデータをいただいた場合は、再入稿または一部修正費がかかる場合がございます。